

【応募様式 2】

AI・IoT 等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金
(新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業)
実施計画書

記載にあたっての留意事項 (提出時は削除)

- 数値は、有効数字第三位まで記載し、それ以下は四捨五入すること。また、三桁毎にカンマを加えること。
- 専門家以外が読んでもわかるように、平易な記載及び丁寧な説明を心がけること。やむを得ず専門用語や略語を記載する場合は、その用語の解説等を記載すること。
- 申請書類中の用語の使い方や記載ぶりは統一させること。
- 計算に用いた数値について、注釈も踏まえつつ適宜根拠を示すこと。ただし、数値の根拠が不明確な場合等においては審査の過程で追加説明を求めることがある。
- 提出に当たっては、本留意事項、例示（赤字斜体部分）及び注釈（赤字吹き出し部分）は、全て削除すること。
- 実施計画書中特に、「No.」と「名称」は、数か所記載欄があるため、同一内容を記載するように留意すること。
- 経費が外貨で発生する場合、外貨の額を記載するとともに円に換算し、円の額も記載すること（補助金は円で支払うこととなる）。
- 写真、グラフ、図等を用いる場合は、その説明を記載すること。
- 「大幅な」、「優秀である」といった定性的な記載は避け、数値を用いて具体的かつ詳細に記載すること。

- AI・IoT 等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）ではなく、事業の特性が明示された個別事業名を記載。
- 公募申請書と一致させること。

1. 補助事業の名称

○○による○○○○○○○○○省エネ実証事業

2. 補助事業者の概要

2-1. 代表申請者の概要

事業者名称	会社名 :	○○物流株式会社
	住 所 :	〒○○○-○○○○
		東京都千代田区○○○
	最寄駅 :	J R ○○線○○駅徒歩 5 分
事業実施	住 所 :	〒○○○-○○○○
責任者		東京都千代田区○○○
(主担当)	所属・役職 :	○○部 ○○課 ○○
	氏 名 :	物流 花子 (ぶつりゅう はなこ)

電話番号：〇〇〇〇（内線〇〇〇）、〇〇〇（直通）

E-mail：〇〇〇〇

- 事業実施責任者を複数記載する場合は、主担当者が分かるように明記すること。
- 主担当者は、実施計画書に係るPCKKからの指示に対する一元的窓口を担うものであり、事業全般の内容について統括的対応が可能である者とすること。

2-2. 共同申請者の概要

共同 申請 者	事業者名称	事業実施責任者			
		氏名	役職	電話番号	E-mailアドレス
	□□食品（株）	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	▲▲運輸（株）	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	■■輸送（株）	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	（株）☆☆スーパー	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	△△クラウド（株）	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

- 本事業で共通システム、機器を導入する共同申請者をすべて記載すること。

2-3. 事業体制図



その他

【共】△△クラウド（株）（システム開発）

- 本事業の実施体制や申請者間の関係が分かるように記載すること。

- 半ページ以上を目安として記載すること。

3. 補助事業の目的・概要及び補助事業に係る連携計画の概要・特徴

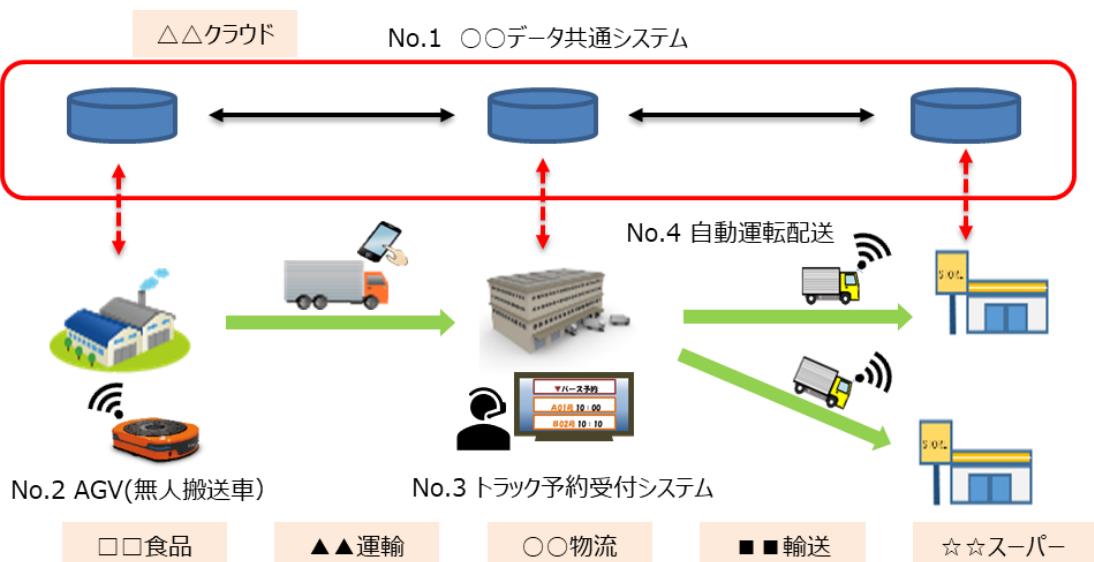
そこで、AI・IoT 等の革新技術を用いたシステム連係やデータ共有化、最新の輸送効率化機器・システムを導入し、申請事業者間で〇〇という工夫を行うことにより、これまで抱えてきた課題や問題点を解決し、エネルギー消費削減率〇%の輸送効率化を実現する事業である。この事業により、〇〇を〇〇という観点から実証することで、その更なる普及に繋げることを見込んでいる。

この事業において策定した連携記録を示す。

- 代表申請者および共同申請者すべてに共有される共通システムを必ず記載すること。

- ・ 代表申請者および共同申請者すべてに共有される共通システムを必ず記載すること。
 - ・ システムや補助対象となる機器には No を振り吹き出しでわかるようすること。
 - ・ イメージ図は必ず、申請者で作成すること。

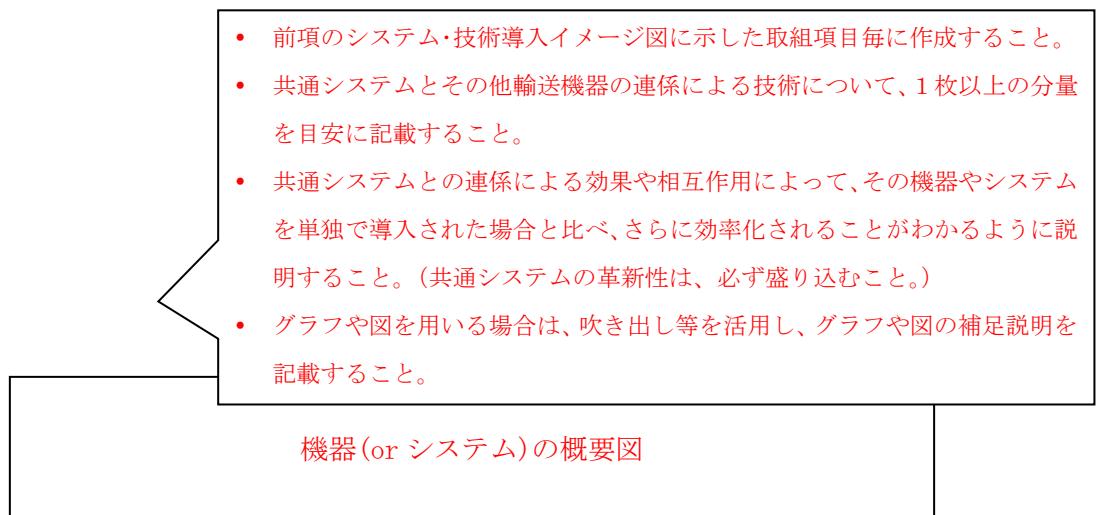
(システム・技術導入イメージ図)



4. 技術の革新性等

4-1. 機器・技術の概要

本機器(or システム)は〇〇〇を〇〇することにより、エネルギー消費削減率〇%を実現するものである。機器(or システム)の概要図を以下に示す。



4-2. 技術の新規性

本機器には〇〇という技術を採用している。この技術の特徴は〇〇である。

A horizontal row of 30 empty circles, each with a red outline, arranged in a single line.

- 技術の新規性を説明するために、関連技術の開発動向（海外企業の動向も含む）、現状の類似技術との比較、その技術の革新性等を記載すること。
 - 「優れた技術」といった一般的な記載だけでなく、何の観点で、何と比べて、どのように優れているのか、詳細に記載すること。
 - 機器の場合、共通システムとの連係の例がない等も新規性として認められるので積極的に記載すること。
 - 実績値や実地試験結果等を説明に用いる場合、その数値等を具体的に記載し、その根拠（実地試験結果なのかシミュレーション結果なのかなど）も併せて記載すること。
 - 共通システムについて記載する場合は、システムの特徴、従来システムとの違い、開発にあたって計算したシミュレーション等を特に詳細かつ具体的に記載すること。
 - その他、特筆すべき事項があれば記載すること（例えば、庫内作業の効率化の結果、対面での非接触が図れる等）。

ANSWER

oo

www.english-test.net

www.english-test.net

www.english-test.net

4-3. 技術の汎用性（普及への課題・解決策、技術の応用範囲・規模）

A horizontal row of 40 empty red circles, arranged in four rows of ten. This visual representation is used to show the concept of 40 empty sets in a mathematical context.

- 他の輸送システムへの普及が困難な技術にあっては補助対象外となる。
 - 上記は、記載例に過ぎないので応用範囲として、適切と考えられる記載が他にある場合は、記載方法を問わない。

A horizontal line of 20 empty circles for drawing a smiley face.

なお、○○の算出過程は以下の通り。

- ・市場規模やエネルギー消費削減効果等については、算出過程も記載すること。
 - ・文章に限らず、説明しやすくなるのであれば、数式等を積極的に使用すること。

5. エネルギー消費削減率等

5-1. 事業実施前後におけるエネルギー消費量の比較

5-1-1. 補助事業前のエネルギー消費量（1週間以上の実測値）

- 計算過程を詳細に記載すること。
 - 数値等を用いる場合は裏付けとなるデータ・根拠を記載すること。
 - 補助事業実施前後のエネルギー消費原単位の算定にあたり、実測によるエネルギー消費量の算定が困難な場合には、合理的かつ、より精微な方法で算出すること。
(例:「貨物輸送事業者に行わせる貨物の輸送に係るエネルギー使用量の算定の方法 (平成十八年三月二九日経済産業省告示第六十六号)
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/ninushi/pdf/060327c-14.pdf」において記載されている算定方法を用いる場合は燃料法、消費法、改良トンキロ法、トンキロ法の順で精緻と見なす。)

A horizontal line of 20 empty circles, with 5 additional empty circles stacked vertically below the first 5.

5-1-2. 補助事業後のエネルギー消費量

事業実施後のエネルギー消費量について、事業実施前で分類した輸送モード及び庫内作業毎に、下記の通りに推計した。

A large grid of 100 red circles arranged in 10 rows and 10 columns. The circles are evenly spaced and form a perfect square pattern.

5-2. 補助事業実施における効果検証

5-2-1. 補助事業実施後のエネルギー消費原単位

- 補助対象機器及びシステム導入によりエネルギー消費原単位を改善できる取組毎に、作成すること。(削減可能な事項は、すべて記載すること)
 - 複数の取組を実施する場合には、例示の通り、5-2-1-2～5-2-1-〇と形式を追記し、記載すること。
(5-2-1-〇、補助事業実施後の〇〇におけるエネルギー消費原単位と追記していくこと。)
 - エネルギー消費原単位を改善できる取組は、例示の記載に関わらず、事業内容に応じてエネルギー消費原単位を適切に算出できる範囲において、自由に設定可能である。(ただし、この項目には補助対象機器及びシステムの導入による定量的効果についての検証を記載すること。)
 - エネルギー消費原単位については、〇～△、〇程度など、幅を持たせた書き方としてはならない。
 - 5-2-1-2～5-2-1-〇における輸送効率化に関する単位は、原則として MJ/(t·km)とするが、倉庫のエネルギー消費量等、必ずしも同じ単位である必要はない。

5-2-1-1. 補助事業実施後の庫内作業におけるエネルギー消費原単位

数值：○○ 单位：○○

(数値の算出過程)

- 実燃料消費量を想定して算出すること。
 - エンジンの燃料消費量など数値を使用する場合は、その裏付けとなるデータ・根拠を記載すること。
 - 用いた数値については、その補足説明を適宜記載すること。
 - 運行や倉庫の特性を考慮し、 $MJ/(t \cdot km)$ 以外の単位を用いることとした場合、その合理的な理由を記載すること。
 - 補助事業実施前後のエネルギー消費原単位の算定にあたり、実測によるエネルギー使用量の算定が困難な場合には、合理的かつ、より精微な方法で算出すること。（例：「貨物輸送事業者に行わせる貨物の輸送に係るエネルギー使用量の算定の方法（平成十八年三月二九日経済産業省告示第六十六号）」において記載されている算定方法を用いる場合は燃料法、燃費法、改良トンキロ法、トンキロ法の順で精緻と見なす。）

5-2-1-2. 補助事業実施後の輸送におけるエネルギー消費原単位

数值：○○ 单位：○○

(数値の算出過程)

○ ○ ○ ○ ○ ○

5-2-1-3. 補助事業実施後の荷待ち時間におけるエネルギー消費原単位

数值：○○ 单位：○○

(数値の算出過程)

○○○○○○

- この他にも、補助対象機器（システム）の導入によるエネルギー消費原単位を改善できる取組があるのであれば、5-2-1-○の形式で追記すること。5-2-2についても同様。

5-2-2. 補助事業実施前のエネルギー消費原単位

5-2-2-1. 補助事業実施前の庫内作業におけるエネルギー消費原単位

数値：○○ 単位：○○

(数値の算出過程)

○○○○○○

5-2-2-2. 補助事業実施前の輸送におけるエネルギー消費原単位

数値：○○ 単位：○○

(数値の算出過程)

○○○○○○

5-2-2-3. 補助事業実施前の荷待ち時間におけるエネルギー消費原単位

数値：○○ 単位：○○

(数値の算出過程)

○○○○○○

5-2-3. 補助事業実施によるエネルギー消費削減率 (%)

E1%

- この項目には、エネルギー消費削減率を記載すること。下記※にエネルギー消費削減率の算出過程を参考例として示すが、これ以外の算出方法を採用する場合でも、エネルギー消費削減率の算出は必須とする。

◆補助事業実施後のエネルギー消費原単位測定期間（予定）（5-2-1）

●年●月●日～●年●月●日（1か月間）

◆補助事業実施前のエネルギー消費原単位測定期間（5-2-2）

●年●月●日～●年●月●日（1週間以上）

※参考

5-2-3 の計算過程をまとめて示すための計算表の例を以下に示すが、他の計算方法を使用する場合、表等を活用し詳細かつわかりやすい算出過程を示すこと。

項目	補助事業後の原単位	補助事業前の原単位	原単位改善率	補助事業実施後のエネルギー使用量(1か月あたり)	補助事業実施後の省エネ量(1か月あたり)
庫内作業 (庫内の消費エネルギー／移動させた荷物量)	○○ MJ／t	○○ MJ／t	A1	a2	a3
輸送 (輸送エネルギー／貨物量×距離)	○○ MJ／t・km	○○ MJ／t・km	B1	b2	b3
荷待ち時間 (配送毎の荷待ち時間における使用エネルギー)	○○ kJ／回	○○ kJ／回	C1	c2	c3
○○	○○ MJ／××	○○ MJ／××	D1	d2	d3
・	・	・	・	・	・
エネルギー削減率(%)	$E1 = 1 - \frac{(1 - A1)a2 + (1 - B1)b2 + (1 - C1)c2 + (1 - D1)d2}{a2 + b2 + c2 + d2}$				

(備考)

- 補助事業実施前後でのエネルギー消費原単位改善率（A1～D1）について、算出方法の参考例を以下に示すが、他の計算方法を使用する場合には詳細かつわかりやすい算出過程を示すこと。

原単位改善率=1- (補助事業実施後の原単位／補助事業実施前の原単位)

また、これらのエネルギー消費削減率E1%の効果の内訳は下記のとおり。

省エネに向けた取組	エネルギー消費削減率 (%)
輸配送ルートの見直し	$\alpha 2$
共同輸配送の実施	$\beta 2$
荷待ち時間の削減	$\gamma 2$
庫内作業の効率化	$\delta 2$
共通システムの導入	$\varepsilon 2$
・	・
・	・
・	・
合計	$E1 (= \alpha 2 + \beta 2 + \gamma 2 \dots)$

(備考)

記載するエネルギーは、エネルギーの使用的合理化等に関する法律法施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）におけるエネルギー換算係数を使用し算出すること。

(<http://law.e-gov.go.jp/html/data/S54/S54F03801000074.html>)

5-2-4. 補助事業実施におけるその他の効率化等

- 補助事業を実施したことにより、5-2-1 に記載した輸送効率化以外で「▲▲をなくすことができたことによる省エネ効果」などを記載。
 - 補助対象機器及びシステムの定量的効果以外の省人化や物流生産性向上などの定性的な効果、加えて、補助対象機器及びシステム以外の機器導入による定量的・定性的効果についての記載も可能とする。
 - 輸送効率化にも資する効果であり、5-2-3 の表中の原単位改善率 (A1～D1) における効果と被らないようにすること。
 - 補助事業によって得られる効果はすべて記載すること。

パターン1：補助対象機器以外の導入により、省エネ効果が見込まれる場合

具体例：共通システムとの連係をしていないパレタイズロボットにより、パレットへの積み付け時間が削減。それによる荷待ち時間の削減が見込まれる場合。

5-2-4-1. パレタイズロボット導入によるエネルギー消費量の改善

□□食品の工場内にて、パレタイズロボットを導入。共通システムとの連係をしないため補助対象外となるが、当該機器の導入により積み付け時間の〇%削減が可能。それにより荷待ち時間の〇%減少が見込まれ、エネルギー消費量の改善

が見込まれる。

5-2-4-1-1. 補助事業実施後のパレタイズロボット導入によるエネルギー消費原単位

数值：○○ 单位：○○

(数値の算出過程)

○ ○ ○ ○ ○ ○

5-2-4-1-2. 補助事業実施前のパレタイズロボット導入箇所におけるエネルギー消費原単位

数值：○○ 单位：○○

(数値の算出過程)

○ ○ ○ ○ ○ ○

5-2-4-1-3. パレタイズロボット導入によるエネルギー削減率

5-2-4-1-1 および 5-2-4-1-2 より、エネルギー消費量原単位改善率は〇〇となる。また、当該機器設置個所の補助事業実施後の 1 ヶ月あたりのエネルギー消費量は〇〇MJ であるため、当該機器を導入することによるエネルギー削減率は〇〇%となる。

パターン2：補助対象機器の導入により、省エネ効果以外の効果が見込まれる場合

具体例：AGV の導入により、ピッキング人員の削減と作業時間効率化による残業時間の削減が見込まれる場合。

5-2-4-2. AGV（無人搬送車）の導入による省人化および労働環境の改善

発荷主である□□食品の工場におけるNo.2 AGV（無人搬送車）の導入により、ピッキング人員○人の省人化が期待される。また、○○データ共通システムとの連係により、商品出荷時のピッキングに係る時間が○%削減され、それによる工場作業員の総残業時間の○%削減が見込まれる。

.....

5-3. エネルギー消費削減率等の検証

エネルギー消費削減率の検証には、①共通システムを利用せずサプライチェーン輸送効率化機器単独を用いたことによる消費原単位改善率と、②共通システムと共にサプライチェーン輸送効率化機器を用いたことによる消費原単位改善率の2通りを行います。

5-3-1 検証予定期間

- ①: ○年○月○日～○年○月○日 (1週間以上)
②: ○年○月○日～○年○月○日 (1ヶ月)

5-3-2. 檢証方法

上記期間の間、補助事業実施後の実稼働に係る燃料消費量を○○物流が1日○回○○のデータの計測を行う。また、道路や天候、災害等の影響を勘案するため、取得したデータに△△の補正を行う。

検証による目標値としては、〇〇の理由により 5-2-3 の E 1% を用いることとした。〇

- ・ 検証に必要となる機器がある場合には、当該機器の概要、計測方法等を記載すること。なお、計測機器等を補助対象経費に含む場合は、「添付 補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費の内訳等」の検証等費の項目に明記すること。ただし、当該計測機器等を事業終了後も取り外さずにエネルギー消費削減率等の確認等のために使用し続ける予定である場合に限る。
 - ・ また、公試のみ等検証のためだけの運用による検証は不可。

5-4-3. 検証予定期間及び検証方法の妥当性について

6. 実施計画

6-1. スケジュール

項目	補助対象	概要	R3 年度	R4 年度	R5 年度
機器の 製造・ 発注	○	AGV (無人搬送 車)			→
	○	予約受付シス テム		→	
	○	自動運転配達		→	
システム 詳細 設計	○	○○データ共 通システム開 発詳細設計	契 約	→	
システム稼働	—	○○データ共 通システム稼 働		→	
検証	—	検証運用	→	→	→
	—	PCKK へ報告		→	→

※ 費用内訳とスケジュールの対応がわかるように記載すること。

- 機器の導入・共通システムの構築とともに、補助対象経費に係る作業スケジュールの詳細をわかりやすく記載すること。

6-2. 補助金申請額

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計
①補助事業に要する経費	○○円	○○円	○○円	○○円
②補助対象経費	○○円	○○円	○○円	○○円
③補助金申請額	○○円			○○円

内訳については「添付 補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費の内訳等」参照

- 「添付 補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費の内訳等」により作成し、添付すること。
- 1円未満は切り捨てとすること。
- 日本円で記載すること。

6-3. 資金調達計画

- 事業全体での合計額の資料と共に、代表申請者および全共同申請者ごとの資料も作成すること。

事業全体

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金（円）	○○			○○	
自己資金（円）	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	
合計（円） (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

補助事業者名：○○物流株式会社

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金（円）	○○			○○	
自己資金（円）	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	●●銀行
合計（円） (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

- 1円未満は切り捨てとすること。
 - 日本円で記載すること。

(備考)

The diagram consists of two rows of circles. The top row contains 20 circles arranged in a single horizontal line. The bottom row contains 18 circles, also in a single horizontal line. There is a gap of 2 circles between the end of the top row and the start of the bottom row.

- 補助対象経費に関して、外国企業からの物品調達等において外貨での支払いが想定される場合は、換算レート（換算レートは、合理的根拠に基づいた、適切なものを使うこと。また、証憑書類を添付すること）、換算前の外貨の額等について記載すること。
 - 申請に係る処分制限財産を取得し、又はその効用を増加させるために必要な資金を調達し、処分制限財産に対する抵当権その他の担保権の設定を予定する場合にあっては、当該内容を併せて記載すること。

補助事業者名：□□食品株式会社

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金（円）	○○			○○	
自己資金（円）	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	□□銀行
合計（円） (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

(備考)

A horizontal line of 50 empty orange circles, arranged in three rows of 17, 17, and 16 circles respectively, representing a grid for drawing a 50-point star.

補助事業者名：▲▲運輸株式会社

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金 (円)	○○			○○	
自己資金 (円)	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	▲▲銀行
合計 (円) (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

(備考)

A decorative horizontal border consisting of two rows of red-outlined circles. The top row has 30 circles and the bottom row has 29 circles, creating a symmetrical pattern.

補助事業者名：■ ■ 輸送株式会社

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金（円）	○○			○○	
自己資金（円）	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	■■銀行
合計（円） (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

(備考)

A horizontal row of 30 empty orange circles, arranged in three rows of 10 circles each. The circles are evenly spaced and have a thin black outline.

補助事業者名：株式会社☆☆スーパー

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金（円）	○○			○○	
自己資金（円）	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	☆☆銀行
合計（円） (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

(備考)

A diagram consisting of three horizontal rows of circles. The top two rows are completely filled with circles, while the bottom row contains only 8 circles, leaving two empty spaces on the right.

補助事業者名：△△クラウド株式会社

項目	R3 年度	R4 年度	R5 年度	合計 (円)	備考
補助金（円）	○○			○○	
自己資金（円）	○○	○○	○○	○○	
借入金(円)	○○	○○	○○	○○	△△銀行
合計（円） (補助事業に要する経費)	○○	○○	○○	○○	

(備考)

7. 実施体制

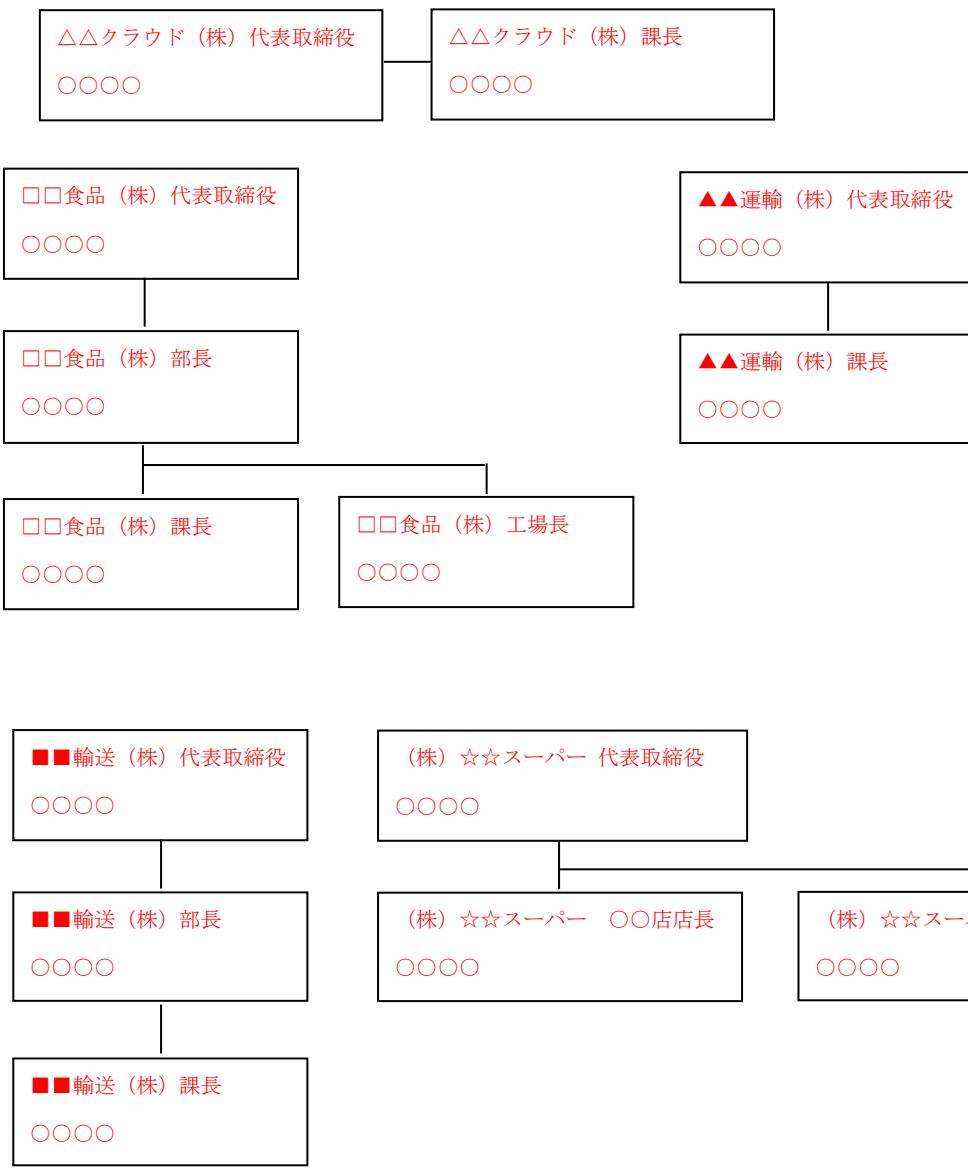
7-1. 実施体制図

- ・ 全共同申請者の体制を記載すること。
- ・ 共同申請の場合、申請者間の関係がわかるように記載すること。
- ・ 複雑になることが想定される場合は別紙参照でも可

代表申請者



共同申請者



7-2. 各社の役割

- 上記体制図に記載がある事業者毎に作成すること。

会社名 ○○物流株式会社

補助事業における役割

会社名 □□食品株式会社

- 以下、全共同申請者ごとに記入すること。

(以下 余白)

8. 補助事業実施に関する事項

8-1. 他の補助金との関係等

この事業に係る形態のうち〇〇の部分については、別途〇〇省の〇〇補助金の交付を申請中である。ただし、補助対象経費については、〇〇補助金は〇〇、〇〇補助金は〇〇と切り分けは行っているため問題ない。

- 本事業に関連し、国から他の補助金を過去受けていた、若しくは今後受けることを予定している場合又は補助金の申請を行い、若しくは検討している場合、その内容を記載すること。
- 特にない場合にあっては、「なし」と記載すること。
- 申請者（関連会社含む）が当該補助事業における形態と同じ革新技術の組み合わせの他形態を制作する場合、今後の予定を記載すること。また、その形態に対して他の補助金を申請する予定がある場合も併せて記載すること。
- 他の補助金との関係については、補助対象経費の切り分け内容などについて具体的に記載すること。

8-2. その他実施上問題となる事項

- 事業実施上問題となる事項がある場合、その内容と解決方法を記載。
- 事業計画の変更を予定している場合は、変更理由、変更時期、変更後の体制・役割分担、を可能な限り詳細に記載すること。
- 許認可、権利関係等事業実施の前提となる事項を記載。

以上

添付 補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費、補助金申請額の内訳（7-2 関係）

補助事業名：○○による○○○○○○○○○○省エネ実証事業

補助事業者名：事業全体（事業全体の資料に加えて申請事業者毎の内訳資料を作成）

	区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	小計（円）
補助対象経費	共通システム事業費	小計 () 内は補助金申請額	40,000,000 (20,000,000)	10,000,000	10,000,000 (20,000,000)
		○○データ共通システム () 内は補助金申請額	40,000,000 (20,000,000)	10,000,000	10,000,000 (20,000,000)
		() 内は補助金申請額	()		()
		() 内は補助金申請額	()		()
	サプライチェーン輸送効率化機器事業費	小計 () 内は補助金申請額	50,000,000 (25,000,000)	22,000,000	22,000,000 (25,000,000)
		AGV（無人搬送車） () 内は補助金申請額	20,000,000 (10,000,000)	10,000,000	10,000,000 (10,000,000)
		トラック予約受付システム () 内は補助金申請額	10,000,000 (5,000,000)	2,000,000	2,000,000 (5,000,000)
		自動運転配送システム () 内は補助金申請額	20,000,000 (10,000,000)	10,000,000	10,000,000 (10,000,000)
		小計（円）	90,000,000 (45,000,000)	32,000,000	32,000,000 (45,000,000)
	補助対象外経費		10,000,000	5,000,000	5,000,000 20,000,000
	消費税（円）		10,000,000	3,700,000	3,700,000 17,400,000
	合計（円）（補助事業に要する経費）		110,000,000	40,700,000	40,700,000 191,400,000

補助事業者名：○○物流（株）

	区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	小計（円）
補助対象経費	小計 () 内は補助金申請額	10,000,000 (5,000,000)	1,000,000	1,000,000	12,000,000 (5,000,000)
	○○データ共通システム () 内は補助金申請額	10,000,000 (5,000,000)	1,000,000	1,000,000	12,000,000 (5,000,000)
	() 内は補助金申請額	()			()
	() 内は補助金申請額	()			()
	小計 () 内は補助金申請額	20,000,000 (10,000,000)	7,000,000	7,000,000	34,000,000 (10,000,000)
	AGV（無人搬送車） () 内は補助金申請額	0 (0)	0	0	0 (0)
	トラック予約受付システム () 内は補助金申請額	10,000,000 (5,000,000)	2,000,000	2,000,000	14,000,000 (5,000,000)
	自動運転配送システム () 内は補助金申請額	10,000,000 (5,000,000)	5,000,000	5,000,000	20,000,000 (5,000,000)
小計（円）		30,000,000 (15,000,000)	8,000,000	8,000,000	46,000,000 (15,000,000)
補助対象外経費		5,000,000	1,000,000	1,000,000	7,000,000
消費税（円）		3,500,000	900,000	900,000	5,300,000
合計（円）（補助事業に要する経費）		38,500,000	9,900,000	9,900,000	58,300,000

補助事業者名：□□食品（株）

- 以下、全共同申請者ごとの内訳資料を作成すること。

(備考)